

地震防災教育 家庭の備えから

防災・減災

発行所：はやぶさ地防会
 編集者：代表者 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878
 FAX 0561-51-2879



▲開会式の挨拶は尾張旭市教育長玉置基氏

地震や津波 以外も要注意

自然災害の危険度が高い日本。内閣府の防災白書によれば、世界で起きるマグニチュード6以上の地震の約2割は日本で発生している。地理的条件や気象条件から、日本は、台風、水害、土砂災害、火山噴火などの自然災害も多発する。更に水害や台風に関しては、過去のデータでは考えられないほど規模がどんどん大きくなっています。最大の原因は地球温暖化です。

尾張旭市市民活動促進 助成事業



2016/09/10

▼大学生が講演会にて中学生に指導



2016/09/10

▲大学生が教育長及び講師より職責を自然災害から身を守るために大切なのは自分の住んでいる地域で最も起こりやすい自然災害のリスクに対処することです。海岸沿いなら津波や台風時の高波、高潮、河川流域なら豪雨による氾濫、木造家屋が多い住宅なら震災時の倒壊や火災、火場には必ず避難対策は立てておく。また自分にとって最も身近な災害リスクをしっかりと把握することが重要である。

飲料水は、大人1日1リットルを目安に、災害時には体重量の1割を目安に。二番の心配事、排泄の悩みを解消。約30秒の汚物を素早く固めて臭いを衛生的に使用後は可燃ゴミとして処理できる。トイレ処理をAEDと人工呼吸器指導

飲料水は、非常食を試食お持ち。大人1日1リットルを目安に。災害時には体重量の1割を目安に。二番の心配事、排泄の悩みを解消。約30秒の汚物を素早く固めて臭いを衛生的に使用後は可燃ゴミとして処理できる。トイレ処理をAEDと人工呼吸器指導

▼AEDと人工呼吸器指導



2016/09/10



2016/09/10